

水河家研究報告会

「江戸時代の富谷(宇垣)について」

講演会

2020年7月から御津図書館に所蔵されている水河家(みずこうけ)文書の調査をしています。

すべての史料の研究は、まだできていませんが、当時の様子はどんなだったのか?そもそも名主家ってどんな史料を残し、そこからなにが分かるのか?などについて、みなさんに分かりやすくお話ししたいと思います。

【日時】 2月19日(日)
10:00~12:00

【場所】 御津公民館第1・第2講座室

【講師】 三田 智子(みた さとこ)さん
(就実大学人文科学部 准教授)

【参加費】 無料

【申込】 御津公民館窓口か電話で受付
(名前・住所・電話番号をお知らせください)

岡山市立御津公民館

岡山市北区御津宇垣 1629

電話 086-724-1441

水河家(みずこうけ) ってなに?

水河家は19世紀の初めごろから河内村富谷の名主をつとめ、幕末には河内村山条や河内村母谷などの名主、明治初期には現在の御津宇垣あたりの副戸長につきました。

そのため水河家文書には、富谷や、その周辺地域の当時の様子がたくさんしるされています。